

表現あそび

2025年4月

ソラストみたか台保育園 ゆめぐみ(4歳児)

テーマ 日本文化の伝承 こいのぼり

問いを考える こいのぼりってなんだろう

こいのぼりってどこにいる？ 空にいる 空を泳いでいるみたい

環境をデザインする

事前活動 ・こいのぼりの歌を歌う

・みんなで園内に飾ってある兜や五月人形、手作りこいのぼりを見て回る ・作ったこいのぼりを保育室の出窓に飾る

事後活動 ・こいのぼりを作っていなかった子ども達が自由遊びの時間に作るようになる

・すくわくタイムで楽しんだイメージの世界を画用紙に描いている

表現活動を実践し、記録する

こいのぼりを作ろう



折り紙をハサミで切ってみたよ



切ったらまた形が変わった！

自分が折り紙になりきってこいのぼりを作ってみよう
色々なポーズをしたよ 折りすぎて小さくなってしまふ子どもも…

こいのぼりになって空を旅していたら雷ぼうやに遭遇



雷を鳴らすダンスを教えてもらったよ
お腹をたたいて雷を鳴らしたり、大雨を降らそう

カラスの親子にも出会ったよ



おなかずいた
もっとたべたいよ〜

カラスのお母さんにご飯をもらっている子どもカラスたち
大きな口を開けて食べさせてもらっている姿

振り返る・共有する

・最初から楽しい雰囲気始まり、人見知りをする子どもが多いクラスだが、最初から柔らかい表情で参加している子ども達の姿が印象的だった。

・子ども達が好きな「ひみつ」「内緒」という言葉で、子ども達の興味を引きつけていた。また保育園の中で身近な存在であるクラス担任が、一緒になって全力で遊んだり、さーやんの「先生には内緒だよ…」と言いながら子ども達を集めて作戦会議をすることで子ども達とさーやんに一体感が生まれていた。子ども達はとてもいい表情で、わくわくしている。

・最後にみんなで手を繋いで丸くなり、お風呂を作ったことが心に残ったようで「みんなでお風呂を作ったの楽しかったよね」と、子ども達同士で話している。全員でイメージを共有することができた時間だった。

表現あそび

ソラストみたか台保育園

テーマ 散歩 種 生き物

問いを考える 様々なものになりきるってなんだろう

いろんな動物がいるけど、それぞれどんな動きをしているかな？

→ワニは床を這って移動している

生き物以外にも乗り物や植物はどんな形をしている？どのように動いている？

→飛行機は羽があって空を飛んでいる。ヤシの木は葉っぱが頭の上に生えている。

環境をデザインする

事前活動 ・朝の会で「ちゃつぼ」の手遊び歌をする。 ・保育室を広く空けて伸び伸び活動できるよう環境設定を整える。

事後活動 ・自由遊びでままごと遊びなどが盛んになり、なりきって遊ぶ子どもが増えた。

さーやんが室内に来ると大喜びの子ども達



さーやんがきてくれた！きょうはどんなたのしいことをしてくれるのかな？

いろんな動物に変身！



ゾウやフラミンゴに変身！ワニの動きも面白そうだからやってみよう！

ワニにへんしんしたらワニふうふのしんこんりょうについていくことになっちゃった！

飛行機に乗ってハワイへ出発！



ひこうきにのってハワイへあそびに行くぞ！

喉が渴いていたところにワニ専用の自動販売機を発見！



ここにじどうはんばいきがあるよ！（「喉が渴いたね」という発言に対して）

ハワイを探検して、畑を耕していたら喉が渴いてきた。なにか飲み物ないかな？

人間ミキサーになってフルーツジュースを作ろう



みてみて！『にんげんみきさー』はこうやってうごくんだよ

探検を続けてヤシの木を発見。ヤシの実を器にしているんな果物を採集

集めた果物をまとめてミキサーに入れちゃおう！

友だちの思いついた『にんげんミキサー』

アイデアを出して皆でやると楽しい！

振り返る・共有する

・初回のすくわくが印象に残っているようで今日もさーやんが来てくれたことを大いに喜んでた。さーやんの姿が見えた瞬間から「さーやん！」と大きな声を出して呼びかけており、その場で飛び跳ねてしまうほど嬉しそうにしていた。

・前回のすくわくで心を開いた子どもが多く、活動が始まってから意欲をもって取り組んでいた。さーやんは子どもの小さな表現や発想を見逃さず全てを拾ってくれるからか、子ども達も躊躇せずに伸び伸びと体で表現したり言葉で伝えようとしたりする場面が見られた。

・さーやんと振り返りの時間では表現遊びの重要性について教えていただいた。いたずら好きの子どもは表現遊びのなかで認めてもらえば自然と危険な行動が減ることや、受け入れてもらえることで子どもとの信頼関係を築けることを学んだ。活動のなかでは全てを受け入れることは難しいが子どもの気持ちに寄り添いながら関わるようにしていきたい。

表現あそび

2025年6月

ソラストみたか台保育園 ゆめぐみ(4歳児)

テーマ 七夕 花火

問いを考える 七夕ってなに？ 花火はどうやって打ち上げるの？

どうやったら願い事が叶うのかな？

→短冊に願いを書いてみる 願いを叶えてくれるお星さまに会いに行く 空にいた神様に直接お願いを聞いてもらう

空にいたら花火が見えたよ 花火ってどうやって打ち上げるのかな？

→火薬をたくさん詰めて火薬玉を作ってみよう 人間マッチになって火をつけて打ち上げてみよう

環境をデザインする

事前活動 ・「たなばた」を歌う ・七夕まつりの絵本を読む ・七夕飾りを作る ・家庭で短冊を書いてもらう

事後活動 ・引き続き七夕飾りを作る ・なりきって遊ぶごっこ遊びがさらに盛んになる
・花火の造形を行う

表現活動を実践し、記録する

どうやったら願いごとがお空に届くかな？

「たんざくっていい かみにねがいごとをかくだよ」

「おうちでパパとママといっしょにかいたからしってるんだ」

七夕は短冊に願い事を書くとお願いが叶うということを知らないさーやんに自分たちが知っていることを自信を持って教えている



ロケットに乗って空の上にいる神様に会いに行こう



「いそいでロケットにのろう」

ロケットになって空に向かって出発 部屋中を走り回る

短冊に願いを書いていたらお星さまが空から降ってきた

神様に会わせてくれるために空に招待してくれることに

お空で神様に会ったよ

特別になりたいものに変身させてくれるんだって



ロボット 忍者 お姫様と王子様・・・色々なものに変身する

忍者になっていたら敵が来た 隠れ身の術で石になって見つからないようにしている様子

「にんじやになりたい！」
「わるものがきた！はやくかくれよう」

忍者になりきって移動したり、隠れたりしている

願いを叶えてくれた神様にみんなで花火を見せてあげよう



神様は花火を見たことがないらしい・・・

花火を見せてあげようと火薬を詰めて、大きな火薬玉を作っている子ども達

「ひをつけたらうちあがるよ」
(花火ってどうやって打ち上げるの？という問いに対して)

自分がマッチ棒になって火をつける真似をする 全身を使い、打ち上げ花火になりきってジャンプする

振り返る・共有する

・園での七夕飾りを作って飾った経験、家庭で家族と一緒に短冊を書いた経験を思い返しながら自分が知っていることを自信を持って発言している。

・なりたいものを聞かれ「忍者」と答えていた。前日に忍者の修行と題し、運動遊びを楽しんでいたため、前日の遊びの続きのように子ども達は忍者になりきっている。敵に見つからないように隠れ身の術をしたり、静かに歩いたり、忍者の世界を楽しんでいた。

・花火を見たことのない神様に、花火を見せてあげようという提案に対して嬉しそうにしていた。神様はどんな反応をするのだろうかという期待をもって火薬玉を作っている様子だった。花火は火をつけたら打ち上がるという友だちの発言を聞いた子どもが、「シュボッ」と言いながら火をつけている様子を再現している姿が面白かった。

・活動後も忍者になりきって遊ぶことを楽しんでいた。自分たちが関心をもって楽しんでいたことが他の活動ともつながったことで、さらに発展している。

表現あそび

2025年7月
ソラストみたか台保育園 ゆめぐみ(4歳児)

テーマ お盆

問いを考える お盆ってなんだろう？

お盆ってどんな日？ ご先祖様ってどこにいるの？

きゅうりってどうやってできるの？

環境をデザインする

事前活動 ・きゅうりを育てる ・みんなで盆踊りを踊る
・お盆に関する絵本を読む「おぼんぼんぼんおどり」「いのちのまつり」

事後活動 ・引き続き盆踊りを踊る
・たいよう組が作った夏野菜の制作を見て楽しむ ・精霊馬、精霊牛の意味を知り関心を持つ

表現活動を実践し、記録する

不思議な種をもらったよ



さーやんから種をもらって大事に持っている子ども達

種を植えるために土を耕そう



最初は土を掘っていた子ども達だが、友だちがドリルになっているのを見て真似している

ドリルになってすすむとつちがふかふかになるよ

種を植えてみよう



ふかふかになった土に種を植えたよ

きゅうりってこんなかたち

きゅうりってきいろいはながさくんだよ

種を植えてみよう



芽が出た！



ぐんぐん伸びて



花が咲いたよ



立派なきゅうりができた

きゅうりの馬(精霊馬)に乗って出発！



ご先祖様と馬に乗って色々なところへおでかけしたよ

振り返る・共有する

・お盆について知るためには自分たちには「先祖」がいるということを知る必要があった。事前に絵本を読み聞かせる機会を設けたが、理解については個人差があったように感じた。お墓参りなど行ったことがある子どもも少ないようだが、表現遊びを通してご先祖様の存在について知ったり考えたりできる機会になった。

・さーやんから種をもらって大切に持って歩く姿、土を効率よく耕すためにはどうしたらよいかを子ども達なりに考え、「ドリルになって耕そう」という発想が面白かった。友だちの面白そうな考えや動きを見て、受け入れ、真似て楽しんでいる。受け入れてもらった子どもも満足そうな表情を浮かべていた。

・きゅうりを育てていたのでも、きゅうりが育つ過程をよく理解していた。花が咲いて、枯れて実がなることを自信をもって説明している。また、花のにおいを嗅いだ経験を基に「お花ってくさいんだよ」と話していた。

表現あそび

2025年8月

ソラストみたか台保育園 ゆめぐみ(4歳児)

テーマ

むしのこえ

問いを考える 鳴く虫ってどんな虫？

どんな声で鳴くの？

鳴く虫はどんな色、形をしているのかな？

環境をデザインする

事前活動 ・鳴く虫の絵本を用意する ・童謡「むしのこえ」を歌う ・「むしのこえ」に登場する昆虫の鳴き声を聴く
・事務所の前にスズムシを置いて本物の音色を聴く

事後活動 ・引き続き「むしのこえ」を歌う ・事務所の前でスズムシの飼育、観察を続ける

表現活動を実践し、記録する

オタマジャクシからカエルに進化



虫の鳴き声が聞こえてきたよ



♪キラキラ キラキラ...
コオロギに変身！



クラスでカエルを飼育していることを知ったさーやん。
さっそく皆でオタマジャクシ→カエルになって遊ぼう！

「リンリン」って音が聴こえるね！

事前に「むしのこえ」の振付を考え、
すくわくで披露する子ども達。

「エンマコオロギ」っていう
鳴く虫がいるよ！



他にも鳴く虫はいるかな？

自分たちで、鳴く虫に合わせて踊りを考えよう！



私たちはハートのポーズをして
手拍子！

「ヒリヒリヒリヒリ
リーンリン」



虫のポーズをとったら
お部屋を走る！



土の布団にもぐって
おやすみなさい

振り返る・共有する

・今回のテーマが『虫』であるため、導入として飼育しているカエルから活動が始まった。オタマジャクシからカエルに進化していく過程は、4月から観察している子ども達にとって理解し易く積極的に取り組む子どもが多かった。

・童謡『むしのこえ』を朝の会で歌っていたことで、活動中は自信を持って歌ったり事前に振付を考えていたためそれを踊ったりして楽しそうに活動に取り組んでいた。しかし、さーやんが歌詞を変えて歌うと、間違いを指摘することばかりに集中してしまう子どももいた。真面目さゆえの行動だと感じるため、ひとつの個性として見守っていきたい。

・上記のように、まじめな子どもが多いためか自由な発想が少ない。『ウサギ虫・ロボット虫』や、鳴かない虫にも焦点を当てて『忍者虫』など現実には存在しない昆虫ではあるが、オリジナルの虫を想像して遊びを発展できるようにしていきたい。

表現あそび

2025年9月

ソラストみたか台保育園 ゆめぐみ(4歳児)

テーマ お月見

問いを考える お月見ってなあに？

宇宙には何がある？ 地球 土星 金星 地球の周りだけ空気がある
宇宙にはどうやって行く？ ロケットに乗っていく 宇宙服を着る
宇宙には誰がいる？ 宇宙人 うさぎ

環境をデザインする

事前活動 ・月のみちかけについての話をする
・月にお餅つきをするウサギがいるという言い伝えを話す ・「うさぎ」を歌う ・うさぎになりきって飛び跳ねる

事後活動 ・大型井形ブロックで宇宙船を作る ・月のみちかけの図鑑を見て楽しむ ・たいよう組が作ったお月見団子を見に行く

表現活動を実践し、記録する

宇宙の話



ちきゅうのまわりだけ
くきがあるんだよ！

ロケットに乗って宇宙に出発



宇宙に出る前に宇宙服を着よう



あたまにつけるものが
たりない！

宇宙には何がある？をみんなで考えた。子ども達は惑星の名前を 水筒、宇宙服を持ってみんなでロケットに乗り知っていたり、空の上には宇宙があって、宇宙の上には何がある 込む。ロケットになりきり、全速力！んだらう？と話したりしていた。

保育士が宇宙服の着方を教える。ズボンに足を通して、袖を通す。あれ？何か足りない・・・

宇宙人、うさぎに会ったよ



子ども達もうさぎになりきる

うさぎと一緒におもちをつこう



おもちをつく子どもとおもちになる子どもとで自然に役割分担ができる。食べると何にでもなれるおもちが完成。食べて新幹線、ロボットになりきる。

ロケットに乗って地球に帰ろうとしたけど・・・



かえりたくない！

まだまだ宇宙で遊びたい子ども達。みんなで宇宙に泊まることに。

振り返る・共有する

・さーやんが保育室に入ってきた時に、クラスで行っている水族館の取り組みのために装飾していたり作っている物に関心を持ってくれたことが嬉しかった様子である。他にもラキューで作った作品を見せたり、コンサートごっこで使うために準備していたマイクやウクレレを得意げに見せていた。その流れで表現遊びに入っていったため、どの子どもも気後れすることなく参加し始めた。

・テーマである月に繋げるために、最初に宇宙についてみんなで話した。自分が知っていることを話すことが好きな子ども達は、宇宙にある惑星の名前や、宇宙には空気がないけれど地球の周りだけ空気があるなどと、自信をもってどんどん発言していた。子ども達がそれぞれ発言した宇宙について、話だけでは分らなそうなのは、さーやんが分かりやすく再現することによってイメージを共有することができていたように感じる。

・前回までは特定の子どもの中心となっていたが、今回は多くの子ども達が発言し、友だちの言葉を聞き、表現遊びが進んでいくことをクラス全体で楽しむことができていた。心地よい雰囲気の中で一人ひとりが楽しむ姿を見ることができた。

表現あそび

ソラストみたか台保育園

テーマ 神様

問いを考える 神様ってなに？

神無月ってなに？ 和風月名で10月を表す。出雲地方では「神在月」という。
出雲大社ってどこ？ 島根県 新幹線や飛行機で行ける場所。
神様はどこにいるの？ 一つひとつに神様が宿るので身近に存在する。

環境をデザインする

事前活動 表現活動を実践し、記録する。神無月では、全国の神様が島根県の出雲大社に集まりお祭りに参加する月であることを話す。絵本を読んだ後に、どこにどんな神様がいるか考える。

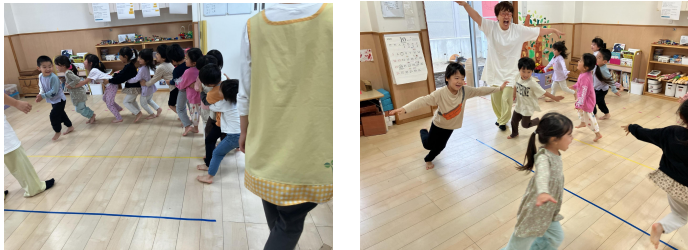
事後活動 島根県の出雲大社はどこか、子ども達と調べた。和風名月を子ども達と絵本を見て調べた。

神無月って？



10月は和風名月で『神無月』っていうみたい。絵本を読んで知った子ども達は自信を持ってさーやんに教えていた。

出雲大社に向かう



東京から島根県は意外と近いね。新幹線と飛行機を使って出雲大社へ出発！

地球の神様に遭遇



最近、寒暖差がひどくて地球も風邪を引いたみたい。

体調を崩した神様もいるみたい



熱が出たりおなかの調子が悪い神様もいるみたい。

神様を看病したりお見舞いに行こう



みんなで力を合わせて神様を元気に。

出雲大社の入り口に到着！ この先にどんな神様がいるかな？



出雲大社に到着したけど活動終了の時間。最後は忍者ポーズでご挨拶。

振り返る・共有する

- ・今月は神様・神無月をテーマに活動を行った。さーやんから「いまは何月だろう？」の問いに「10月、神無月だよ」と答える子ども達。事前に和風名月や神様にちなんだ絵本を読んだり、神無月では全国の神様が島根県の出雲大社に集まることを話していたので、さーやんの問いかけに自信を持って発言していた。保育者の話をよく聞き理解しているからこそ相手に伝えられるのだろうと感じた。
- ・活動が始まり、子ども達が神様になり出雲大社を目指す途中、子どもが畑を指さして「畑の神様がいる」と話したり、おもちゃ棚になりきっておもちゃの神様になったりしていた。自分で思いついたことを発言したり行動で示すことが増えてきた。
- ・物語は進み、子ども達の前に体調を崩した神様が現れる。さーやんと一緒に救急隊になって救助すると、子ども達から「お見舞いに行こう」と提案がありその神様に集めた果物などの食べ物を渡していた。
- ・子ども達は表現遊びのストーリーをイメージしながら活動に参加している。子どもたちの発言は、状況を捉えられていると感じる発言が多くなってきた。みんなで表現遊びを積み重ねていったことで、思ったことを好きに発言しているだけでなく、ストーリーに沿った言葉を考えて発言する姿が増えてきた。

表現あそび

2025年11月

ソラストみたか台保育園 ゆめ組(4歳児)

テーマ 日本文化の伝承「土の中」

指針: 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする

問いを考える 土の中にはどうなっているんだろう？

土の中はどうなっている？
たくさん掘っていくとマグマがある
虫たちのホテルがある
土の中には何が？
色々な虫(カブトムシ、クワガタ、蝶、アリなど)

環境をデザインする

導入 季節(秋)の食材を知る だいこんの種まき、間引きをする
土の中についての絵本を読む(「このあななんじゃ」「土の絵本」)

発展した遊び 虫のレストランごっこを楽しむ イモムシ鬼ごっこをする



表現活動を実践し、記録する

ゆめ組恒例 隠れてさーやんを待つ



ロッカーにや床と一体化している様子。
自分が着ている服と同じような色の場所を探して隠れていた。

土を掘ってみよう



ここにシャベルがあるよ！
みんなどうぞ！

土の中に入ることになり、手で掘っていたら、
一人の子どもがみんなにシャベルを配ってくれる。

土の中で色々な幼虫を発見！



クワガタ、カブトムシ、蝶、など子ども達がそれぞれが好きな幼虫になりきる。グループに分かれて、幼虫から成虫になるまでを体で表現した。

アリからムカデに変身！？



ジャンケンで
きめたら？

虫のホテルへようこそ



ちび芋ちゃんとミミズくんがホテルに泊まりに来たけど、残りは一室...どちらが泊まるかをかけてジャンケンすることに。

さーやんと一人の子どもが繋がって一緒にアリになりきっていた。「面白そう！」とその後ろに他の子ども達もどんどん繋がってムカデに変身する。

みんなで2段ベッドを作ることに



こんどは
せくらべて
きめよう！

ジャンケンで負けたちび芋ちゃんが泣いてしまったので、2段ベッドを作って二人が泊まれるようにしたらどうかと子ども達が提案した。完成するも、次はどっちが上で寝るかで喧嘩が始まる。今度は背比べで決め、無事に眠れることができた。



振り返る・共有する

・すぐわくタイムが始まる前は、保育室の中で隠れてさーやんを驚かすことがゆめ組の恒例となっている。今日は隠れている時に喧嘩が発生。子ども達と集まり、みんなが隠れられるいい方法について会議する。身を隠すだけでなく、床やロッカー、ピアノ、おもちゃなどになりきって隠れることを楽しんでいた。

・子ども達が思い思い、想像したことを発言するようになる。今回は特に子ども達が話を繋げていき、ストーリーが進んでいった。一人ひとりの発言を拾いながら、さーやんが子ども達が好きそうなハプニング、今回で言えばちび芋ちゃんとミミズくんの喧嘩などを加えることでさらに楽しむことができた。

・自分の発言を聞いてほしくて、さーやんや友だちの話を遮ってまでも発言していた子どもが、この表現遊びを積み重ねていったことで、発言するタイミングを見計らったり、待つことができるようになってきている。表現遊びを通して、表現力だけでなく、周りの友だちと一緒に楽しい時間を過ごすためにどうしたら良いかを考える力も少しずつ身につけていっている姿が感じられた。今後も一人ひとりの成長により、クラス全体がどう変わっていくかが楽しみである。

表現あそび

2025年 12月

ソラストみたか台保育園 ゆめ組(4歳児)

テーマ 日本文化の伝承「十二支」

指針: 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする

問いを考える 十二支ってなに？

十二支の生き物はなにがいる？ 十二支の生き物。中には現実には存在しない架空の生き物もある。

来年の干支はなにか？ 来年は午年

環境をデザインする

導入 12月になり年末が近づいてきた。十二支にちなんだ話を聞き、干支に興味や関心を持つ。

発展した遊び 園庭で鬼ごっこをすると逃げる人が「ネズミ」鬼が「ネコ」に分かれておりオリジナルの遊びをしていた。お正月にちなんだ活動を自発的に始め、着物や門松、おせち、獅子舞など造形して遊んでいた。

表現活動を実践し、記録する

十二支の生き物はなにかな

自分のなりきりたい生き物は....

グループごとに生き物発表！



自分達や先生・周りの大人の干支を聞いてどんな生き物がいるか考える



十二支を挙げていき、その生き物の動きをやってみる



チーズをみつめたみんなでたべるぞ！



ネコ・ネズミ・いのししになりきって動きを披露



ネコとネズミがケンカ

どうして2匹は仲が悪いの？

来年は午年！



ネコはあることがきっかけでネズミを襲うように.....



昔の神様に仲が悪くなった経緯を聞く。今の神様が新たな干支を決めてネコも入れることに！



最後は「ウマ」になりきって「うまのうた」を歌い終了 来年もよろしくお願いします



らいねんも よろしくおねがいいたします

振り返る・共有する

- ・今回のテーマは十二支で、子ども達も知っている動物が登場するため普段以上に役になりきって遊んでいた。時折、保育者や講師の声が届かなくなるほど熱中して取り組んでいた。生活の中でよく見る生き物のため演じやすく、楽しそうに伸び伸びと活動していた。
- ・子ども達と知っている十二支の動物の名前を挙げていった。その中で『竜』がいるが、一人の子どもが「竜は動物じゃないよ。現実にはいない生き物だよ」と話していた。現実の生き物と架空の生き物の区別がついているからこそ、その発言がでたのだと感じた。
- ・すくわく後からお正月にちなんだ造形や活動を意欲的に取り組む子どもが増えた。おせちや門松、獅子舞、神社、着物などを作ってはそれを使ってなりきって遊ぶことを楽しんでた。自分が経験したことを遊びのなかに取り入れて友だちや保育者と一緒に遊ぶことが増えてきて成長を感じた。



表現あそび

2026年 1月
ソラストみたか台保育園 ゆめ組（4歳児）

テーマ 日本文化の伝承 『年末年始』『節分』

指針：感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする

問いを考える

冬の風ってどんな風？ 冷たい風もあれば生ぬるい風も吹く 冷たい風には北風小僧の寒太郎がいる

節分ってなに？ 豆まきをして鬼を退治する 自分の心の中の鬼を退治する 季節冬から春に変わる

環境をデザインする

導入 門松、おせち、獅子舞などの造形を楽しむ
紙芝居「ふくはうち おにはうち」、絵本「おにのパンや」を読む
自分の心の中の退治したい鬼は何か考える 歌「まめまき」「北風小僧の寒太郎」を歌う



発展した遊び 鬼の被り物や三方を作る 節分では新聞紙で作った豆で豆まきを楽しむ

表現活動を実践し、記録する

冬の風になりきる



冬の風が吹いてきた
みんなで風になって飛び回ろう

風の温度は何度だろう？



つめたいかぜはゼロ℃
じゃない？

人間温度計になって風の温度を測る

冷たい風が吹くと・・・ハハハックション



冷たい風に吹かれてくしゃみが止まらない・・・
くしゃみを一緒に鼻水が出ると子ども達は大笑い

鬼が来るぞ！柘鞆を作ろう



柘鞆がある家は臭くて入れない！
入れる家はないかな

くさーい！

鬼のパンツはトラの毛皮で できていると言うけれど・・・



トラの毛皮を取らないでほしいと
怒るトラたち

トラの毛皮以外で鬼のパンツを作ろう



きいろいぬの

トラの毛皮に変わるパンツの材料は何がいいか
尋ねると「黄色い布」がいいと答える子ども達

振り返る・共有する

- 年末から「北風小僧の寒太郎」をクラスで歌っていて、戸外に出て冷たい風が吹くと「かたろろうがきた！」と子ども達と盛り上がっていたので、風になる場面では子ども達もイメージをしっかりと持ちながら表現している姿があった。
- 冷たい風が吹くと寒さでくしゃみをして鼻水が出てしまう流れを子ども達は大笑いして楽しんでいた。大人がふざけると子ども達はさらに親近感が湧いたようだった。このクラスの子供達はとても真面目なので、大人が先に冗談を言ったりふざけることで、子ども達も一緒になって感じたことを表現できるようになると思う。
- トラの毛皮以外で鬼のパンツを作ろうなり、講師が例として「バナナの皮」を挙げた。子ども達は即答で「黄色い布」と答えていて、真面目な子ども達らしい答えだと感じ、面白かった。現実的な考えの子ども達だからこそ広がる表現の世界もあると思うので、子ども達の雰囲気や考えにあった表現遊びを楽しんでいきたいと思う。
- 節分に関する表現遊びを十分に楽しむことができたので、その後の節分の行事に関心を持ち、積極的に参加していた。



節分の様子

表現あそび

2025年 2月

ソラストみたか台保育園 ゆめ組(4歳児)

テーマ

日本文化の伝承 『冬眠からの目覚め』『ひなまつり』

指針: 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする

問いを考える

今の季節は？ まだ寒いから冬 立春が来たから春 節分が過ぎたから春

冬眠する動物は？ 熊、りす、カエル、ネズミ、とんぼ、蜂……動物や生き物が冬眠する

環境をデザインする

導入 『うれしいひなまつり』を歌う 戸外散歩へ行き梅の花を見て季節の変化に気付く
冬眠する動物は何か子ども達と考える

発展した遊び 園庭へ出るとダンゴムシやイモムシなど冬眠から目覚めた昆虫を探すことを楽しんでた。

表現活動を実践し、記録する



さーやんに見つからないように隠れよう

壁になりきって隠れる!

自分が隠れるのではなく、壁や床、イスになりきって隠れる

冬眠する生き物は……

自分が知っていることを相手に自信を持って発表

冬眠する生き物になりきって土のなかを探検

ねずみやミズ、モグラに変身して穴掘り開始

壁になりきって隠れる!



ネズミの好きなチーズになりきっています

お腹が空いたな～



食べ過ぎてお腹が痛くなってきた

『土の中』のテーマに登場した土の中病院・ホテルを思い出し、病院へ患者を運ぶ

心肺蘇生しますね

私たちは6Pチーズに変身

それぞれの生き物が好きな食べ物を用意してたくさん食べる

振り返る・共有する

- ・すぐタイムの時間では、さーやんが室内に入ってくる前に室内に隠れて驚かせることが毎月の恒例になっている。以前は壁の隅に行き体を隠していたのが、今回は壁や床、イスになりきってかくれんぼを楽しんでいた。1年の積み重ねにより想像力や発想力が養われたのだと感じた。
- ・土を掘る時にネズミに変身。講師がネズミになろうと話さずとも、自分たちで思いつきクラス全員で楽しく取り組んでいた。講師・保育者の半歩先の先を行って遊ぶことを楽しんでた。
- ・思いついたことに躊躇なく発言。講師と子ども達との間に信頼関係があるからこそ、自信を持って思ったことを発言している。
- ・冬眠中の土のなかにもドラマがある。土の中では、今回のすくわく活動のように虫たちが助け合って生活しているらしい。



皆でひな人形作ったよ

みんなにも見てもらおう



さっそくイモムシ発見!